



認定特定非営利活動法人
コミュニティリーダー ひゅーる ぽん

事業計画書

2020

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

活動の基本方針

未来のために、今、私からつながること

華々しいオリンピックイヤーになると誰もが思っていた今年ですが、新型コロナウイルスの感染拡大とともに状況は一転しました。「そこまで大変なことにはならないだろう」と鷹を括ったのは束の間で、3月に入り学校の臨時休校、WHOのパンデミック宣言、オーバーシュートとなったヨーロッパ、オリンピックの延期…と、「命を守る行動」を私たち一人ひとりが「賢明になって」「人や社会に想いを巡らして」考えなくてはならない状況になってきていることを感じます。

90年代後半から急速に普及したインターネット。今では、このデジタル情報網は携帯電話等を通して私たち一人ひとりに当たり前のように浸透し、生活に不可欠となりました。本来であれば、人と人、人とサービスをつなぎ、人や社会の生活を豊かにするためのものであったと思いますが、残念ながら、悪意に基づいたネットアクセスや犯罪が増加したことは言うまでもなく、今回のコロナウイルス禍にあっては、マスクの転売やフェイクニュースの流布など「人を分断」する手段にもなってしまったことに深い心の痛みを感じます。そこまでとはいかないまでも、福祉現場でもあるひゅーるぽんに毎日のように届く行政からのウイルス対策メールを開封するたびに、現場をねぎらう言葉もなく、ひたすら国の方針を示した文書の機械的な転送に、やはりどうしようもない悲しさを感じます。私たちの心はどこに行ってしまったのか…と。私たちが求める利便性は賢明性や人としての成長の裏付けがあつてこそ、豊かさを生むのだと改めて感じます。

さて、そのような中、昨年私たちは、通常プログラムに加え、将来の私たちのあり方を形成するための三つの取り組みを行いました。

その一つ目は、私たちの思いを発信することです。復活した会報「うるとらのほし」は紙面構想から文章の練り上げまで大変な作業でしたが、スタッフにとっても私たちの活動やそのあり方、あるいは社会事象について深く見つめ直し、考える大変貴重な学びの場でもありました。みなさま方からの反響もよく、私たちの思いを伝える大切な手段として、今後もより一層の充実と発信を図りたいと思います。

二つ目は、私たちの支援の考え方の源となる「社会力」（会報では「非認知能力」としても紹介をしました）についての研究です。この1年間の取り組みで、未就学期、学齢期、成人期に分けて、「安心感」を土台に、「交流感（人とつながる力）」、「有能感（自身の能力を知り高め生かす力）」、「自己決定感（自己を主張し、バランスよく自分で判断する力）」をどの段階でどのような支援によって身につけていくことができるかという系統立てた支援表をおおよそ作り上げることができました。これによって、誰もが共通した視点と手立てでより深く子どもたち、通所者に関わることができるようになると思います。発達支援の専門性の向上と合わせて、今後さらに実践を重ね、より充実した社会力を支援する力を高めていきたいと思います。

三つ目は、担当現場にとらわれることなく広い視野で活動を見つめ、そのあり方、将来を構想していく取り組みです。担当領域を超えた合同ミーティング、夢づくり未来会議、プログラム検討委員会な

どを通して、多様な何層もの形態で、よりよい支援、よりよい活動とは何か、その実現のためにこれからの私たちの活動はどうあるべきかを考える機会を持ちました。子どもたちとの最初の出会いとなる相談分野においては、特に乳幼児期に、より保護者に寄り添っていねいな支援をするための広報や相談機会の充実と相談から発達支援までの連携した道筋づくりを行っていくことを確認しました。センターにおいては、その特性を活かしたひよこ組ときっず組の交流機会の充実により、豊かな心の発達を促していくこと、さらには将来までの発達を見通した育成観を保護者の方と共有する取り組みを進めていくこととしました。また、就労継続支援B型事業所となった「ぽんぽん」においては、「働くこと」を含めた生きがいとは何かをより深めていくとともに、意思確認、意思決定支援のスキルを高め「本人主義」の充実を図っていきます。さらには、通所者の「将来」について考えていく場も動き始めました。

長々と書きましたが、これらは全て冒頭に書いた通り、「賢明」でしかも「人や社会に想いを巡らせる豊かな人間性」を私たち、子どもたち、通所者がともに成長する中で身につけていきたい、そういう人間、私たちでありたいという思いによるものです。そしてその思いと行動が、私たちだけの自己満足にならないように、さらに多くの人たちとともに成長できるように、成長させていただけるように、たとえばひゅーるぽんを起点とした交流の場である地域食堂「みんなおいでや」のようなプログラムも大切に進めていきたいと思います。

未来のためにわたしたちひとりひとりの人間力を高めること。

そして、自分を起点にした血の通ったつながりをつくっていくこと。

この一年、こういう時だからこそ、私たちは取り組んでいきたいと思います。

あなたとともに。



1.運営に関わるプログラム

=その他、本法人の目的を達成するために必要な事業

認定NPOとして、引き続き運営基盤の強化と安定につなげていきます。継続している「夢づくり未来会議」では少しずつ自分たちが大切にしていきたい方向性が整理・共有されてきました。しなくてはいけない事業がありつつも、人がつながりあうことの大切さを決してないがしろにしないスタッフでありたいと思います。そして、つながりあうことでしかできないひゅーるぽんの活動への共感の輪をさらに広げていけるよう努力していきます。

1-1 各種運営会議

1-1-1 運営に関する会議

- 1-1-1-1 通常総会
- 1-1-1-2 顧問監事会
- 1-1-1-3 理事会
- 1-1-1-4 運営委員会
- 1-1-1-5 業務セクション会議
- 1-1-1-6 プログラム検討委員会
- 1-1-1-7 こども発達支援センター運営委員会
- 1-1-1-8 夢づくり未来会議2020
- 1-1-1-9 合同ミーティング 月2回
- 1-1-1-10 所長会議

1-1-2 プログラム実施に関する会議

- 1-1-2-1 コミュニティスペース事業に関わるプログラム会議
- 1-1-2-2 まちづくり、ボランティア育成事業に関わるプロジェクト会議

1-2 活動支援プログラム

- 1-2-1 Hull Fan
- 1-2-2 一般寄付

1-3 広報プログラム

- 1-3-1 WEBによる情報発信
- 1-3-2 広報紙「うるとらのほし」年2回発行

1-4 研修

- 1-4-1 新人スタッフ研修
- 1-4-2 スタッフ研修
- 1-4-3 他団体主催の研修等への参加

2.コミュニティスペースプログラム

2-1.こども発達支援センター事業 =子どもたちの育ちの支援に関わる事業

2-1-1 児童発達支援（ひよこ組）＝児童福祉法に規定する障害児通所支援事業

今年度も「安心感・交流感・有能感・自己決定感、健康・基本的生活習慣、あそび、人とのかわり、認知・コミュニケーション、地域とのかかわり、家族支援」という領域を軸に、発達支援計画を保護者と丁寧に確認していきます。また、子ども達が安心していきいきと自分らしさを発揮できる場でありたいと思っています。そのためにも、今年度も保護者とスタッフが一緒に子どもを育てていく視点を大切にしていきます。

スタッフのスキルアップについては、個々のケース実践のカンファレンスや勉強会だけでなく、ひよこ組以外の外部への子育て相談などの業務を通して、幅広い視野で発達支援を考えることのできるスタッフを引き続きめざしていきます。

保護者支援では一昨年より行なっている「土曜日研修」を実施し、両親が一貫性のある子育てをしていけるようにサポートしていきます。また、参観なども定期的に行い、子どもの成長を見ていただきながら家庭での取り組みを一緒に考える場面を作り、家庭を支援する延長保育プログラム「ゆうやけひよこ ちっち」も継続していきます。

就労している保護者の増加や受給量の変更、低年齢から集団生活に入る子どもの増加といった社会情勢の変化で、これまでの通園形態を見直す時期にきているように思います。今年1年をかけて必要とされる児童発達支援のありかたを再考していきます。



事業目的	2歳から就学前までの発達に支援の必要な子ども達を対象とし、児童発達支援ガイドラインに基づき、生活や遊びの支援を行うことを通して、基本的な生活習慣の獲得や自立、人・集団に対しての愛着心を育むこと、毎日をいきいきと過ごしていくための支援を行います。
事業内容	ひゅーるぽん独自の「安心感を基盤とした交流感・有能感・自己決定感の醸成」を基盤として、児童発達支援ガイドラインに基づく支援を行います。 季節や文化を大切にした発達支援を行います。 (1) 活動計画 発達支援計画に基づいた支援を行います。 (2) 行事予定 4月：はじまりの会、個人懇談、こいのぼり製作 5月：徒歩遠足 6月：嘱託医健康診断 7月：七夕のつどい、プール開き、歯科検診 8月：水遊び、パパ・ママとあそぼう、夕涼み会 9月：年長児お泊まり会、中間個人懇談 10月：お月見クッキング、運動会 11月：お芋クッキング 12月：お餅つき、冬のお楽しみ会 1月：お正月あそび 2月：節分、アート・ルネッサンスツアー、嘱託医健康診断 3月：まとめ個人懇談、すだちの会 ※毎月：きつ組との交流「ぴよきつ組」、身体測定を実施
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、ボランティアリーダーなど
事業費	34,428,907円



2-1-2 放課後等デイサービス事業（きっず組）＝児童福祉法に規定する障害児通所支援事業

今年度も様々な活動を通して子どもたちの社会力を高めます。小学校低学年の子どもたちは、日々の集団遊びを通して友達と過ごす楽しさや面白さを十分に育み、交流感の高まりにつなげます。中高生の子どもたちは、土曜日や長期休暇などを利用して自分たちで活動を企画実施することに挑戦し、自分たちで決めたことを形にしていく面白さや友達を思いやる気持ちを高めていきます。異年齢児集団で育ち合える活動と、成長段階に合わせた多様な活動をバランス良く取り入れ、子どもたちが生活経験を広げ、日常の中でワクワクできる時間をつくることにつなげます。

また、近年高まっている学校に行きづらさを感じている子どもたちのニーズに応じ、朝から通所できるフリースペースの曜日を増やします。子どもたちが安心して過ごせる居場所の確保と生活リズムの確立につなげていきます。

ひよこ組、ぽんぽんととの交流も継続し、通所児・者同士の日常的な関係をより深めていきます。さらにこども発達支援センターとして、幼児期から成人期までの一貫した支援観と長期的視点で成長を見守っていける強みを生かし、専門職の保健師、栄養士、心理士、相談支援専門員と連携を図りながら多面的に子どもたちの姿を捉えるよう努めます。昨年度から始めたセンターの職員が集う合同ミーティングの時間を増やし、成長の長期的な視点を持ち支援に生かしていきます。

加えて、今年度も学校等他機関との連携を積極的に図り、支援に生かします。保護者へは、日々の送迎時や茶話会、勉強会、懇談などを通して思いを共有すること、保護者同士のつながりを作ることを大切に支援していきます。



事業目的	障がいのある子ども達に対して、子どもの思いや願いをくみ取り、大切に育む事を活動の基本とし、安心感を基盤に人や社会とつながって、いきいきと自己の力を発揮していけるよう育ちの支援を行います。
事業内容	安心感を基盤に、交流感、有能感、自己決定感を育み、子ども達の社会力を高めるための支援を行います。さらに実際の指導に当たっては発達支援指針に基づいて「健康の保持」「心理的な安定」「人間関係の形成」「環境の把握」「身体の動き」「コミュニケーション」の6領域の発達支援を行います。 (1) 活動計画 個別支援計画に基づき、自立した日常生活を営むために必要な支援、創作的活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供等を行います。 (2) 行事予定 4月：保護者茶話会 5月：サイクリング、保護者交流会 6月：外出プログラム、保護者茶話会、個人懇談（個別支援計画の確認） 7月：ぼんぼんとの交流レクリエーション 8月：キャンプ、夏祭り参加 9月：遠足、保護者茶話会 10月：個人懇談（個別支援計画の見直し）、運動会、サイクリング 11月：地域のお祭りへの参加 12月：冬のお楽しみ会、餅つき大会、保護者交流会 1月：雪遊び 2月：保護者茶話会 3月：旅行、お別れ会、個人懇談（個別支援計画の評価） ※その他、年間を通じて誕生日会、ひよこ組との交流「ぴよきっず」を実施予定 (3) 個別支援については、基本的生活習慣チェック表と社会力評価表を利用し、子どもたち一人ひとりの現在の状況と課題を促え直し、短期的、長期的な個別の支援計画を作成し支援を行います。また年齢別集団の目標を設定し、アプローチを行います。 (4) こども発達支援センターとして、専門性を生かし地域社会で果たす役割を考察しながら、学校・関係機関・医療機関等との連携・協働による支援を行います。 (5) ひよこ組、ぼんぼんとの合同の活動を積極的に行い、関係を深めるとともに、子ども達の成長の場面にします。 (6) 個人懇談、保護者勉強会、交流会を通して保護者と思いを共有するとともに、保護者間のつながりを深めます。
実施予定	通年
事業体制	スタッフ、ボランティアリーダー、外部協力者など
事業費	15,765,270円

2-1-3 保育所等訪問支援事業 = 児童福祉法に規定する障害児通所支援事業

今年度は訪問支援のできるスタッフの育成や、実績をあげながら当事業の課題等を精査していくことを目的に、ひよこ組から幼稚園へ通園をはじめた子どもやきつ組を利用する子どもの学校への訪問支援を中心に行っていきます。

事業目的	保育所等において、発達に支援が必要な子どもが他の子どもとの集団生活に適応することができるよう適切で効果的な専門的支援を行います。
実施内容	障害児相談支援のプランにより当事業が必要と認められた児童への支援を行なっていきます。
実施予定	通年
事業体制	スタッフ
事業費	75,834円

2-1-4 障害児相談支援事業 = 児童福祉法に規定する障害児地域支援事業

障害児指定特定相談支援事業 = 障害者総合支援法に規定する事業

昨年度に引き続き、子どもの育ちに関する相談、サービス等利用計画作成に関する相談に対応し、地域の発達に支援の必要な子どもたちの育ちを応援していきます。

広島市障害児等療育支援事業、こども発達支援センターの自主事業である子育てサロンひゅーる等とあわせて、保育士、保健師、社会福祉士等のスタッフが包括的に子どもの育ちに関する相談を受け、その後の生活や成長について、保護者の方や関係者と一緒に考えていきます。また、必要に応じて福祉サービスの申請・利用に関する相談や、利用計画の作成を行います。福祉サービスだけにとどまらず関係機関等と連携しながら、子どもと家族のより良い地域生活を応援していきます。

事業目的	地域の発達に支援が必要な子どもが自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう相談支援を行います。
実施内容	○ 相談の受け入れ - 一般的な育ちの支援に関する相談 - 通所や児童福祉サービスに関わる相談 - 豊かな地域生活をおくるための相談 - 他機関（行政、医療機関、保育園、幼稚園、学校等）との連携 ○ 障害児支援利用計画、サービス等利用計画の作成 ○ 障害者自立支援協議会安佐南地域部会およびこども部会への参加。
実施予定	通年
事業体制	スタッフ
事業費	4,185,404円

2-1-5 広島市療育支援施設事業 =障害者総合支援法に規定する事業

事業目的	広島市より委託を受け、障がいのある子ども等の地域における生活を支えるため、身近な地域で療育指導、相談等が受けられる療育機能の充実を図り、地域の発達に支援が必要な子どもたちの福祉の向上を図ります。
事業内容	(1) 在宅支援訪問療育指導事業 希望に応じて保健師、保育士等が各家庭を訪問し、健康診査、相談及び助言を行います。 ○ ひろばKUSUKUSU祇園の発達相談日の定期開催 2ヶ月に1回予約制で個別相談を行います。 ○ ひろばKUSUKUSU佐東の発達相談日の定期開催 2ヶ月に1回フリースタイルでの相談を行います。 ○ 必要に応じて訪問相談を行います。 (2) 在宅支援外来療育指導事業 ○ ひゅーるぽんでの個別相談 ○ 子育てサロンひゅーる 隔週火曜日(第2・第4) 10:30～11:30 子育て中の親子を対象に、遊びの支援、集いの場の提供を行います。 ○ 個別相談（予約制） 隔週火曜日(第1・第3) 10:30～12:00 ○ 施設支援一般指導事業 ひゅーるぽんの保育士等が、地域の保育所等の職員に対し、発達支援に関する技術の指導等を行います。
実施予定	通年
事業体制	スタッフ、ボランティアなど
事業費	4,785,560円



2-1-6 その他 こども発達支援センター自主事業 =自主事業

事業目的	こども発達支援センターとしての専門機能を活かし、地域の中核的な発達支援施設としての役割を果たします。
事業内容	○ 子育て支援事業 月2回の子育てサロンの開催や、「水あそび」など季節行事を開催し、地域の親子が気軽に利用できるセンターをめざします。 また、子育てサロンのない火曜日は子育てに不安を持たれる方が個別に相談できる体制を新たに作り、子育ての不安を早期に軽減していけるようにします。 ○ 公開研修の実施 子育てに関する勉強会を地域の保護者対象に実施します。 ○ 児童発達支援ひよこ組療育終了後の一時預かり事業 療育時間以降の一時預かり「ゆうやけひよこ ちっち」を実施し、家族が笑顔で生活できることを応援します。 ○ 児童発達支援ひよこ組退園後の保護者へのアフターフォロー事業 幼・保育園に通う子どもの保護者を対象とした「こっこくらぶ」、就学後の子どもの保護者を対象とした「こけこっこくらぶ」を開催し、保護者の悩みの解消や同じ悩みを持つ保護者同士の交流を図ります。 ○ 安佐南区こども発達支援事業所連絡会への参加 地域の児童発達支援・放課後等デイサービス事業所との横の連携を図り、地域全体の発達支援の質を高めていくことをめざします。 ○ 学生やボランティアの積極的な受け入れ ボランティアの受け入れを積極的に進め、地域の福祉拠点としての役割を担います。
実施予定	通年
事業体制	スタッフ
事業費	20,000円



2-2 コミュニティほっとスペースぼんぽん（＝就労継続支援B型事業所）

＝障がいのある人等をはじめとする成人の地域生活ならびに社会参画支援に関わる事業

昨年8月に就労継続支援B型事業所に移行したことも踏まえ、より一層、通所者一人ひとりが人や社会とつながる喜びを感じながら、いきいきと楽しく豊かに生きていくための支援を行います。

これまで同様に、仕事をするを通して、一人ひとりが力を発揮し、本人たちがやりがいや生きがいを感じられるように、工夫して取り組んでいきます。そして、本人たちの活動する姿を、多くの方々に発信し通所者や共感者、支援者を増やしていきます。その方法として、SNSの活用やホームページの充実、外に出ていく機会を利用した発信をしていきます。ホームページのアーティスト紹介や作品紹介を充実し、多くの方に関心を持ってもらえるようにすることと、それをきっかけに足を運んでもらえるようにしていきたいと思います。また、アートグッズの充実や作品の2次展開も工夫をしていきます。仕事の内容を見直し、得意なことを生かせる仕事の獲得に取り組みたいと思います。今一度、ぼんぽんの支援の中心をどこにおくか、何をを目指すのか、整理していきます。

その他、昨年同様、通所者の健康面や将来の生活における成人期の課題について、本人や、家族に向けた勉強会などを実施し、身近なこととして考え、スタッフも一緒に知識を高めていきたいと思ひます。

事業目的	18歳以上の障がいのある人の就労、社会参画ならびに豊かな地域生活の支援を行うことを通して、人や社会とつながる喜びを感じながらいきいきと豊かに生きていくことを支援します。
実施内容	(1) 人や社会とつながっていきいきと豊かに生きる社会生活支援活動 ○ アート製品づくり・販売、アートレンタル、下請け作業（おもちゃ、きくらげ、発送作業など）を通した就労支援、および自立・社会参画支援。就業・生活支援センターと連携した就労支援。 ○ 日常生活能力・対人関係能力・社会生活能力の向上ならびに医療機関との連携を含めた健康管理・維持増進に関わる取り組みの実施（保健師による健康観察、保健指導、定期的に開催する運動クラブ活動、演劇クラブ）、人権擁護センターほっと「ほっとさん」の訪問。 ○ アート創作活動や余暇活動を通した生きがいの支援 (2) あたたかなまちづくりの拠点となる活動 ギャラリーでの絵画展示・企画展、地域向けイベントの実施など、日常的な地域の交流拠点づくり。アートを活用したまちづくりプログラムの実施。 (3) 利用相談や地域生活に関わる相談、利用希望者の見学・体験、実習生、ボランティア・アートサポーター、見学の受け入れなど。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、ボランティアリーダー、アートサポーターなど
事業費	15,736,809円

3.まちづくり・コミュニティボランティア育成プログラム

3-1. まちづくり

3-1-1 アートによるまちづくりプログラム

3-1-1-1 アート・ルネッサンス2021 =まちづくりに関わる事業

今年度も、アート・ルネッサンスを中心に、アートを軸にしたまちづくりの事業に取り組めます。私たちが今まで大切に続けてきた、障がいのある人のありのままの表現が大切にされること、またその表現を側で支え、創作活動を共にするアートサポーターがつながり、高まり合うことができるよう、アートサポーターと協働の形でプログラムを実施します。障がいのある人のアートに触れる機会が増えてきた今、アート・ルネッサンスがどのような役割を持ち、何を伝えていくか、そのためにはどういった方法が適切か、しっかり考えていきます。

事業目的	○ 障がいのある人のアートが持つ魅力、価値を広く社会に広めていきます。 ○ アーティストと社会がつながる社会参画の場とします。 ○ 現場で制作するアーティスト、サポーター同士のつながりを広げます。 ○ アーティスト、サポーターの表現活動の広がり、高まりを支援します。
事業内容	○ 障がいのある人の芸術作品を公募し、選考の上展示を行います。 ○ アーティスト、サポーターとの協働の形で開催します。
実施予定	2021年
実施体制	事務局スタッフ、アートサポーター、ボランティア、アーティストなど
事業費	1,370,000円



3-1-1-2 幸せProducts. =まちづくりに関わる事業

幸せProducts.では、アートが日常の中にあるおもしろさを伝えることに取り組んでいきます。

企業へのアートレンタル事業を、施設、個人と協力し、継続していきます。アーティストへ対価を還元する一つのモデルとして発信し、そこから生まれる新たな展開を模索します。様々な協働の可能性を探り、アートが社会をおもしろくすることを示していきたいと思います。

事業目的	○ 社会の中で障がいのある人のアートの普及と障がいのある人の社会参画を促進します。 ○ アートをまちづくりに活かす取り組みを高めていきます。
実施内容	(1) アートレンタルの継続。実施状況の情報発信。 (2) アートを活用した、屋外展開の実施。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、アーティスト、アートサポーター、協力施設、外部専門家など
事業費	1,438,800円

3-1-1-3 アートスペース =まちづくりに関わる事業

事業目的	○ 障がいのある人のアートを支援するノウハウと資源を活用し、アートに取り組む環境を提供していきます。 ○ 地域へ開かれたアート教室を開催し、制作環境を高めていきます。 ○ アーティストの発掘とアートの社会化を目指していきます。
実施内容	(1) アートスペース絵画の開催。週2回。（月4回コース・8回コース）アーティストが刺激しあい、のびのびと作品づくりを行える制作環境の場を提供します。 (2) アートスペース陶芸の開催。月2回。外部より専門の講師を招き、自由な発想で個性的な作品づくりを行います。 (3) 4カ月に1回（年3回）程度、外部よりアートの専門家を招き、アートスペースを開催します。 (4) 県内外の公募展への応募、作品の展示機会の提供等、作品を通した社会参画を行います。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、外部講師
事業費	696,000円

3-1-1-4 アートサポートセンターひゅるる =まちづくりに関わる事業

アートサポートセンターとして、外部からのアート全般の問い合わせ、相談、協力依頼等の窓口となります。また、各プロジェクトチームと共にアートによるまちづくり事業を行います。今年は、障がい者アートが注目されはじめた一つのきっかけと言われている、オリンピック・パラリンピックの開催という節目の年を迎えました。アートを取りまく社会の状況を見極め、今何が必要で、これからどんな活動をしていくべきかをしっかり考えていきたいと思います。そして、何のために何をするのかということ、込める思いと一緒に発信していきます。共に歩む人と一緒に、進んでいきたいと思います。

3-1-1-4-1 令和2年度広島県障害者芸術文化活動支援事業

=まちづくりに関わる事業

事業目的	○ 障がい者文化芸術活動に関わる、活動基盤の充実・強化。 ○ アートに関する、相談窓口。 ○ 今後の障がい者アートのあり方を考え、目標を共有する。
実施日時	通年
実施内容	○ 広島県アートサポートセンターの運営 - 相談窓口の開設（相談員の配置） - 指導者の派遣 - 創作支援 - 人材育成など（権利保護に関する取り組み）
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、専門家協力委員、アートサポーター
事業費	広島県 令和2年度障害者文化芸術活動支援事業として実施 事業費：8,089,000円



3-1-1-4-2 アートサポートセンターひゅるる自主事業

＝まちづくりに関わる事業

事業目的	○ アートによるまちづくり事業と協働し、社会への普及啓発を行います。 ○ 障がい者アートの普及・発展に向けた取り組みを行います。 ○ 障がい者アートを取り巻く社会情勢を踏まえ、新しい視点を提案します。
実施日時	通年
実施内容	○ 他機関、他施設などと協働した取り組みを行います。 ○ アート活動に関する、相談や協働の窓口になります。 ○ 必要に応じ、各施設・団体との協働で事業を実施します。 ○ アートスペース事業のサポートをします。 ○ 障がいのある人とともに創る演劇事業の協働・サポートをします。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、専門家協力委員、アートサポーター
事業費	171,700円

3-1-2 地域・社会啓発つながりづくりプログラム＝まちづくりに関わる事業

事業目的	啓発活動とあわせて、地域住民やボランティアとつながりをつくったり、深めたりしていきながら、「ともに生きていく」地域づくりを目指します。
実施内容	○ 地域の方とのつながりをつくり、深める「まつり」等の交流イベントを企画・開催をします。 ○ 地域の様々なサークルや団体との協働の輪を広げていきます。 ○ イベントでは子育て相談コーナーなどを設け、ひゅーるぽんの地域の中での役割を発信していきます。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、ボランティア、地域団体など
事業費	150,000円

3-1-3 地域協力プログラム＝まちづくりに関わる事業

事業目的	地域行事の賑わいに貢献し、地域住民とつながりを深めます。
実施内容	公民館まつり、区民まつり等地域行事への協力を行います。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、通所児者、ボランティアなど
事業費	0円

3-1-4 地域交流プログラム 地域食堂「みんなおいでや～」 =まちづくりに関わる事業

事業目的	○ ひゅーるぽんと地域・人がつながり、そのつながりを広げ深めます。 ○ 地域の人が出会いつながるきっかけの場にしていきます。 ○ つながりの中で見えてくる地域課題を見つけ解決に向けて動くきっかけの場とするとともに、これらのプロセスを通して私たちの活動の方向性について考えていく場にします。
実施内容	スタッフとボランティアが協働して地域の人へ会食を通した集いの場を作ります。
実施予定	通年 毎月第3土曜日 おおむね11時30分～14時
実施体制	スタッフ、ボランティアなど
事業費	概ね210,000円（上限240,000円 来場者により変動あり）

3-2 コミュニティボランティア育成プログラム

今年度も地域のボランティア育成の拠点として、学生がボランティア活動に興味を持ち気軽に参加できるきっかけづくりを行います。その手段として、高校・大学を訪問し募集ポスターの掲示の依頼、SNSを利用した情報発信など、私たちの活動を知ってもらい参加につながる工夫をしていきます。また、ボランティアに参加した後のフォローを丁寧に行い、次の活動につながる働きかけを行います。

地域で力を発揮する人を育てるという視点で、様々な団体と協働しながら事業を行っていきたいと思います。

3-2-1 ボランティアセンタープログラム

＝ボランティアおよびボランティア団体の参加・
育成支援、そのための助言に関わる事業

事業目的	○ ボランティアに関心のある人々を巻き込みながら、学び・学びあいの場を提供していきます。 ○ 私たちが展開する様々なプログラムに参加することを通じて、ボランティア・市民活動について相互に学び合う場を作ります。
実施内容	(1) それぞれの拠点、行事等での高校生・大学生ボランティアの積極的な受け入れを行います。 (2) 地域の中学生に対しては、クラブ単位での活動場面をつくるなど、活動目的を限定し、参加しやすいようなイベントを検討します。 (3) 高校や大学に訪問し先生とつながりをつくること、ボランティア募集ポスターや会報などによる情報発信を行うことなどを通して、学生の参加のしやすさにつなげます。 (4) 定期的なメールの配信による、活動情報や行事の案内を行います。 (5) ボランティア活動を通じた成長の場と相互に学び高めあう場を提供します。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、ボランティア、地域団体など
事業費	157,800円



3-2-2 広島市災害ボランティア活動連絡調整会議プログラム

＝緊急・災害時の支援に関わる事業

事業目的	「広島市災害ボランティア活動連絡調整会議」構成団体として、協働しながら災害に備え、災害時にはその対応にあたります。
実施内容	(1) 定例会議への参加 (2) 災害ボランティアセンター開設・運営シミュレーション等のセミナーへの参加 (3) その他
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、協働団体
事業費	0円

3-2-3 講師・委員派遣 ＝ボランティアおよびボランティア団体の参加・育成支援、

そのための助言に関わる事業

事業目的	講師や委員の派遣を通して、社会啓発、障がいのある子どもと大人の福祉の充実・ボランティア・NPO活動を推進するための社会基盤整備、まちづくりに関する提言を行います。同時に他団体とのネットワークを強化していきます。
実施内容	行政・学校・他団体等からの要請に応じて、講師・委員を派遣します。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ
事業費	0円

3-2-4 職場体験・実習生等の受け入れ

＝その他、本法人の目的を達成するために必要な事業

事業目的	教育現場と連携し、職場体験・実習生等の受け入れを行い、学生に学びの場を提供します。
事業内容	学校等からの要請に応じて受け入れを行います。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ
事業費	0円

3-2-5 その他・協力事業

広島市社会福祉協議会が主催で行うボランティアコーディネーター養成講座への運営協力

特定非営利活動法人 ミュニティ・グー・ひゅーるぼん 《令和2(2020)年度》 活動予算案

(単位 円)

第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	経常収益(A)	人件費(B)	その他経費(C)	事業費または管理費計(D) B+C	配賦前当期経常増減額(E) A-B-C	共通経費配賦(F) ※1	経常費用(G) D+F	配賦後当期経常増減額(H) A-F	備考	
運営に関わるプログラム	運営	法人事務局	法人事務局	228,500	11,555,180	9,924,386	21,479,566	△ 21,251,066	△ 21,428,892	50,674	177,826		
		活動支援プログラム	HullFan※2、一般寄付、指定寄付など	2,130,000	0	1,126,000	1,126,000	1,004,000	0	1,126,000	1,004,000		
		特別会計	売電	504,000	0	125,366	125,366	378,634	0	125,366	378,634		
				0	0	0	0	0	0	0	0		
	運営に関わるプログラム合計			2,862,500	11,555,180	11,175,752	22,730,932	△ 19,868,432	△ 21,428,892	1,302,040	1,560,460		
コミュニティスペース プログラム	こども発達支援センター	児童発達支援（ひよこ組）	児童発達支援（ひよこ組）	70,612,242	31,913,353	2,515,554	34,428,907	36,183,335	16,973,615	51,402,522	19,209,720		
		放課後等デイサービス（きっず組）	放課後等デイサービス事業（きっず組）	14,678,541	15,120,650	644,620	15,765,270	△ 1,086,729	3,694,027	19,459,297	△ 4,780,756		
		保育所等訪問	保育所等訪問事業	130,089	4,034	71,800	75,834	54,255	34,240	110,074	20,015		
			その他（訪問事業）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		障害児相談支援	障害児相談支援	1,617,172	4,112,604	72,800	4,185,404	△ 2,568,232	425,645	4,611,049	△ 2,993,877		
		障害児指定特定相談支援	障害児指定特定相談支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		一般相談	一般相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		広島市障害児等療育支援	広島市障害児等療育支援	428,720	4,711,760	73,800	4,785,560	△ 4,356,840	112,841	4,898,401	△ 4,469,681		
		その他こども発達支援センター自主事業	自主事業	0	0	20,000	20,000	△ 20,000	0	20,000	△ 20,000		
		こども発達支援センター共通	センター共通	0	0	3,343,583	3,343,583	△ 3,343,583	△ 3,343,583	0	0		
	こども発達支援センター合計			87,466,764	55,862,401	6,742,157	62,604,558	24,862,206	17,896,785	80,501,343	6,965,421		
	コミュニティ ほっとスペースぼんぼん	就労継続支援B型	日常生活指導（一般会計）	16,952,330	10,765,949	1,538,860	12,304,809	4,647,521	3,537,107	15,841,916	1,110,414		
			特別会計	3,432,000	1,248,000	2,184,000	3,432,000	0	0	3,432,000	0		
	就労継続支援B型合計			20,384,330	12,013,949	3,722,860	15,736,809	4,647,521	3,537,107	19,273,916	1,110,414		
	コミュニティスペースプログラム共通			0	0	5,000	5,000	△ 5,000	△ 5,000	0	0		
コミュニティスペースプログラム合計			107,851,094	67,876,350	10,470,017	78,346,367	29,504,727	21,428,892	99,775,259	8,075,835			
まちづくり・ ボランティア育成 プログラム	まちづくり	アートによるまちづくり	アート・ルネッサンス2021	1,370,000	0	1,370,000	1,370,000	0	0	1,370,000	0		
			幸せProducts.	1,438,800	0	1,438,800	1,438,800	0	0	1,438,800	0		
			アートスペース	696,000	0	696,000	696,000	0	0	696,000	0		
			アートサポートセンターひゅるる（広島県受託）	8,089,000	5,437,200	2,651,800	8,089,000	0		8,089,000	0		
			アートサポートセンターひゅるる（自主事業）	171,700	0	171,700	171,700	0	0	171,700	0		
		地域・社会啓発にぎわいづくり	夏まつり、もちつきなど	150,000	0	150,000	150,000	0	0	150,000	0		
		地域協力	公民館まつり、安佐南区民まつりなど	0	0	0	0	0	0	0	0		
	地域交流	地域食堂「みんなおいでや〜」	210,000	0	210,000	210,000	0	0	210,000	0			
	まちづくり合計			12,125,500	5,437,200	6,688,300	12,125,500	0	0	12,125,500	0		
	ボランティア育成	ボランティアセンタープログラム	ボランティアセンタープログラム	157,800	0	157,800	157,800	0	0	157,800	0		
		ボランティアコーディネーター養成講座	ボランティアコーディネーター養成講座	0	0	0	0	0	0	0	0		
		広島市災害ボランティア活動連絡調整会議協力	広島市災害ボランティア活動連絡調整会議協力	0	0	0	0	0	0	0	0		
		その他 講師・委員派遣	その他 講師・委員派遣	0	0	0	0	0	0	0	0		
		ボランティア育成プログラム合計			157,800	0	157,800	157,800	0	0	157,800	0	
	まちづくり・ボランティア育成プログラム合計			12,283,300	5,437,200	6,846,100	12,283,300	0	0	12,283,300	0		
災害支援			0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	災害支援合計			0	0	0	0	0	0	0	0		
合 計 金 額				122,996,894	84,868,730	28,491,869	113,360,599	9,636,295	0	113,360,599	9,636,295		

※1 共通経費配賦は収益に基づいて配賦しています。

※2 HullFanとは正会員・賛助会員の会費収入のことです。

2020(令和2)年度予算(案)

(単位：円)

事業名		2019年度決算 (A)	2020年度予算 (B)	増減 (B-A)
収 益	法人事務局(運営)	4,217,735	2,862,500	△ 1,355,235
	こども発達支援センター	89,651,289	87,466,764	△ 2,184,525
	ぽんぽん(就労B)	19,199,211	20,384,330	1,185,119
	まちづくり(自主事業)	3,693,506	4,036,500	342,994
	まちづくり(受託事業)	13,068,634	8,089,000	△ 4,979,634
	ボランティア育成	106,895	157,800	50,905
	当初予算外収益(広島市受託)	2,546,296	0	△ 2,546,296
	収益 計(1)	132,483,566	122,996,894	△ 9,486,672
費 用	人件費	80,689,950	81,774,883	1,084,933
	人件費(賞与)	4,100,000	3,093,847	△ 1,006,153
	その他経費	26,306,471	23,906,869	△ 2,399,602
	その他経費(減価償却費)	5,122,595	4,585,000	△ 537,595
	当初予算外費用(広島市受託)	2,546,296	0	△ 2,546,296
	費用 計(2)	118,765,312	113,360,599	△ 5,404,713
経常増減額(3)=(1)－(2)		13,718,254	9,636,295	△ 4,081,959
資 金 増 減	減価償却費の足し戻し	△ 5,122,595	△ 4,585,000	537,595
	借入金等の返済による支出	7,248,000	7,248,000	0
	保険積立金の支払いによる支出	1,778,580	1,778,580	0
	将来的な修繕への積立	600,000	600,000	0
	資金増減(返済/積立) 計(4)	4,503,985	5,041,580	537,595
現預金増減額(5)=(3)－(4)		9,214,269	4,594,715	△ 4,619,554